

# つきがた

第 36 号

昭 昭 4 7 年 1 1 月

発 行

月 潟 村 役 場

人口動態	10月31日現在	10月中の異動
世帯数(男)	784	出生 5
	1,860	死亡 3
	人口総数 3,861	転入 4
	女 2,001	転出 8



## 上越新幹線

### 対策協議会発足

日本列島改造論にさきがけて、上越新幹線が新潟／東京間を一時間40分で結び日帰りが出来そうな速さの乗り物が発表され、其の路線が月潟村を通ることがあわせて発表された。昭和46年11月8日、上越新幹線建設説明会が関係部落民及び代表多数の出席傍聴のもとで開催された。

協議会組織の構成人員は左の諸氏であります。

月潟村地内通過距離、約一九二〇米(中の口村地籍を含む)  
宅地々内通過距離 約三〇〇米  
移転家屋予定 三家屋  
工事用道路移転家屋 未定  
通過部落 大字釣寄地内  
大字釣寄地内

会長 月潟村長 本間国之輔  
副会長 村議会議長 細海 海蔵  
村総合開発 審議会会長 神保 善二  
村経済土木 常任委員長 山田 清松  
村農業委員 曾山 弘  
村農業協同 組合長 和平 信平  
土地改良区 理事長 竹内 久平  
西地区在住 協議員 神保 善二  
曾山 弘

日本鉄道建設公団及び新潟新幹線建設局が五ヶ年計画で着工し昭和52年四月一日開通の予定とされており、現在では、地形測量が終了し、地質調査が実施されております。今後は設計協議、用地中のくい設置、用地丈量、用地の購入、最後に工事の施工となり、工事の施工については、地元代表者、村、警察、公団側、建設業者を一体にした安全協議会の発足が必要となり諸々雑多な今後おこり得る保安対策に努めなければならぬと思われまます。

関係地籍総代理 曾山 弘  
関係地籍在住 農業委員 市島 重一  
関係地籍総代理 田村甚一郎  
釣寄 野田 正作  
釣寄 後藤 安衛  
釣寄 曾山弥一郎  
関係地籍推選地権者 荻原重一郎  
釣寄 村松 信吉  
釣寄 塩浦 清一  
順不同 敬称略

月潟村としては、工事施工前に関係諸問題の対策の必要性のうから「月潟村上越新幹線対策協議会」の発足を去10月25日、月春荘に行ないました。